交通案内

市バス 四条河原町より 32 系統
市バス　JR京都駅より 73·75 系統
市バス　JR京都駅より 205 系統「西大路松原」下車 東へ徒歩5分
「市立病院前」下車 北へ徒歩4分

阪急 西院駅より徒歩10分
京福嵐山線 西院駅より徒歩10分
JR 丹波口駅より徒歩12分

TAXI 京都駅から10分

関連施設等

がくさい病院

〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町1番9　TEL（075）754-7111

- 訪問リハビリテーション「がくさい」（がくさい病院内）　TEL（075）754-7303
- 京都市域京都府地域リハビリテーション支援センター（京都府より指定）　TEL（075）754-7128
- 京都府リハビリテーション教育センター指定教育病院
- 日本整形外科学会研修指定病院
- 日本リハビリテーション医学会研修施設　TEL（075）754-7111
- 日本医療機能評価機構認定病院
  （リハビリテーション病院3rdG Ver2.0 付加機能評価リハビリテーション機能（回復期）Ver3.0）

介護老人保健施設「がくさい」

〒603-8465 京都市北区鷹峯土天井町54番地　TEL（075）494-0318

- 京都市北区地域介護予防推進センター（京都市より指定）　TEL（075）494-0323

訪問看護ステーション「がくさい」

〒603-8214 京都市北区紫野雲林院町76番地　TEL（075）431-6154

居宅介護支援事業所「がくさい」

〒603-8225 京都市北区紫野南船岡町15番地2 CLASKA西陣515　TEL（075）414-2662

京都市鳳徳地域包括支援センター（京都市より委託）

〒603-8145 京都市北区小山堀池町10番地レスポアール紫明102　TEL（075）223-3511

京都 一般財団法人 京都地域医療学際研究所附属 がくさい病院

http://www.gakusai-hp.jp/

E-mail：hospital@gakusai.or.jp　FAX：075-754-7100
〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町1番9　TEL：075-754-7111

しあわせ　みらい
見えないものも　診（み）ています

日本医療機能評価機構 認定第 JC2324 号

京都 一般財団法人 京都地域医療学際研究所附属 がくさい病院

ごあいさつ

がくさい病院　病院長

上島 圭一郎 *UESHIMA Keiichiro*

京都府立医科大学臨床教授
日本整形外科学会整形外科専門医・指導医
日本リハビリテーション医学会専門医
日本股関節学会理事

がくさい病院は関節外科・スポーツ整形を中心とした整形外科診療と回復期リハビリテーション診療を病院の柱として、痛みや障害で困られた方が日常生活や社会生活に戻れるように地域の医療に貢献してまいりました。これからもみなさまの信頼に応えられるような安心、安全でかつ、質の高い医療を行っていくとともに、これからの医療を支える人材育成にも力を入れていくことに職員一同取り組んで参ります。

がくさい病院 スタッフ案内

令和元年4月現在

整形外科
（常勤5名、非常勤5名）

スポーツリハビリテーション科
（理学療法士11名）

部長
菅 寛之
KAN Hiroyuki
日本整形外科学会
専門医・指導医
日本リハビリテーション医学会
認定臨床医
日本スポーツ協会
公認スポーツドクター

リハビリテーション科
（常勤3名、非常勤3名）

回復期リハビリテーション科
（理学療法士20名、作業療法士15名、言語聴覚士6名）

部長
前田 博士
MAEDA Hiroshi
日本リハビリテーション医学会
専門医・指導医
日本摂食嚥下リハビリテーション学会 認定士
義肢装具適合判定医師

看護部
（看護師57名、准看護師4名
看護助手11名）

部長
細越 万里子
HOSOGOE Mariko

医療技術部
（12名）
- 薬剤科
- 放射線科
- 臨床検査科
- 栄養科

部長
中井 登代美
NAKAI Toyomi

事務部
（23名）
- 総務課
- 医事課
- システム管理課
- 地域医療連携係

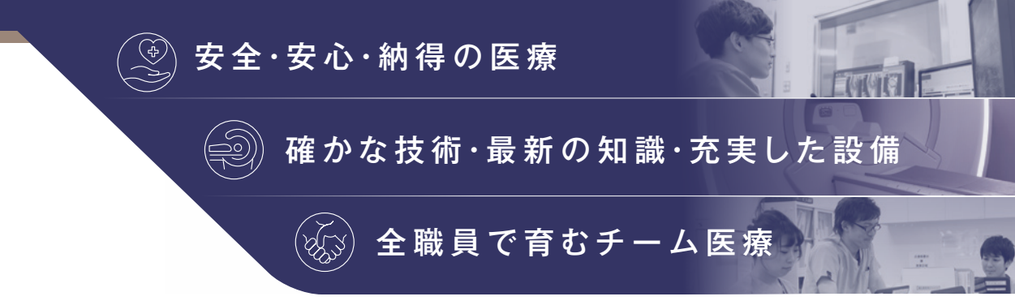
部長
吉田 潤
YOSHIDA Jun

京都地域医療学際研究所（一般財団法人）

京都地域医療学際研究所
理事長
森 洋一
MORI Yoichi
京都府医師会顧問（前会長）
日本循環器学会 循環器専門医
日本小児科学会 小児科専門医

京都地域医療学際研究所
所長
久保 俊一
KUBO Toshikazu
京都府立医科大学 特任教授
日本股関節学会 理事長
日本リハビリテーション医学会 理事長

京都地域医療学際研究所
事務局長
竹村 淳一
TAKEMURA Junichi



安全・安心・納得の医療

確かな技術・最新の知識・充実した設備

全職員で育むチーム医療

整形外科診療
関節外科
スポーツ整形外科
一般整形外科
運動器リハビリテーション診療
（スポーツリハビリテーション科）

回復期リハビリテーション診療
回復期リハビリテーション病棟
在宅リハビリテーションマネジメント

診療科

整形外科　リハビリテーション科　内 科　皮 膚 科　放射線科

外来受付	午前8時30分～11時30分（診療時間午前9時より） 午後1時～3時30分
休 診 日	日曜日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）
病 床 数	90床（整形外科病棟44床 回復期リハビリテーション病棟46床）

病院概要

開 設 者	一般財団法人 京都地域医療学際研究所
開 院 日	昭和59年1月17日（平成25年11月現在地に移転）
敷地面積	2,406.08㎡
建物概要	構造:鉄筋コンクリート造・鉄骨造 5階建 延床面積:4,802.16㎡
告 示	健康保険・国民健康保険・労災保険・ 生活保護・結核

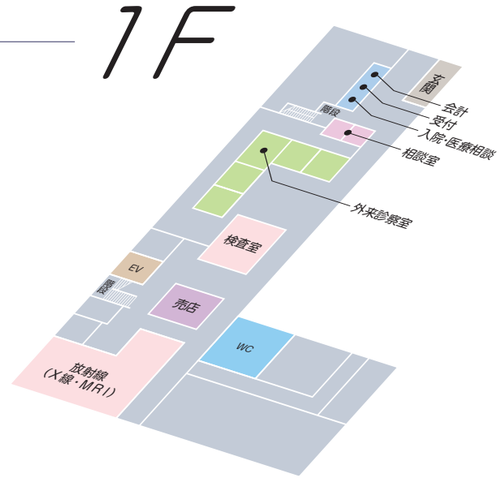
フロア案内

受付・外来・検査フロア

1F

エントランス
外来や入院のご案内、丁寧な医療相談

外来診察室
明るく落ち着ける空間



嚥下造影（VF）検査
嚥下内視鏡（VE）検査

MRI検査

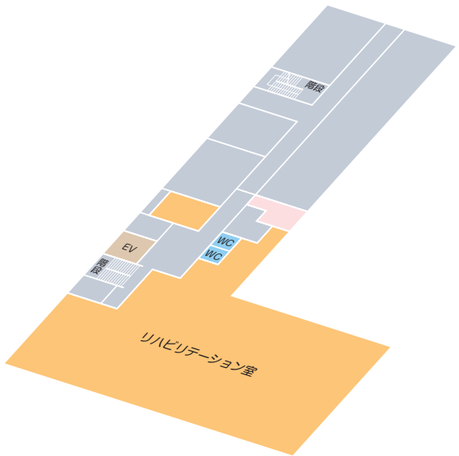
超音波検査

安心・安全・納得の設備・環境

リハビリテーションフロア

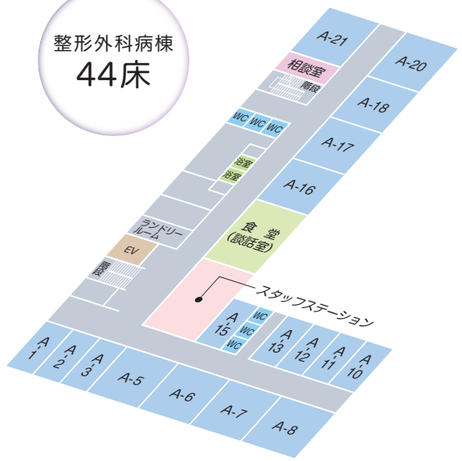
2F

リハビリテーション室
充実した訓練環境



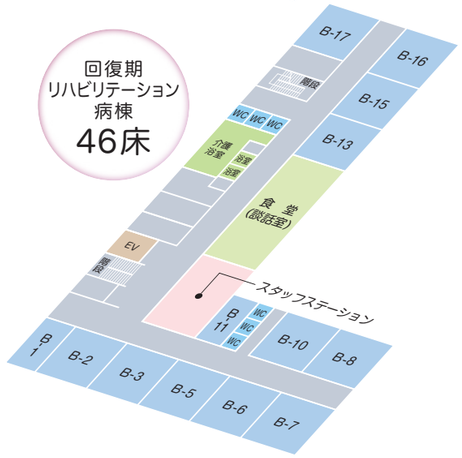
病棟フロア

3F
A病棟



スタッフステーション
声がかけやすいオープンタイプ

4F
B病棟



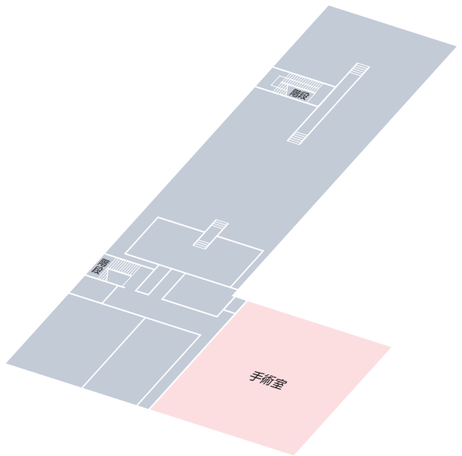
食堂・談話室
明るく楽しい雰囲気

個室

総室（4人部屋）

ゆったりとした快適なスペース

5F
手術室フロア



手術室　バイオクリーンルーム（2室）
高度な清潔度を確保

整形外科病棟 A病棟　3F

関節外科とスポーツ整形外科の疾患を中心に、整形外科疾患で主に手術が目的の病棟です。疾患は**変形性関節症に対する骨切り術、人工関節置換術、スポーツ損傷に対する靭帯再建術**などを多く手掛けています。また、**骨折・外傷**などを含め運動器に対する**全般的な整形外科治療**もしっかりと行っています。若年層から高齢者まで幅広い年齢層対象です。**整形外科専門医**のもと、スタッフが一丸となって診療にあたります。

入院のお問い合わせ

地域医療連携係　075(754)7113

関節外科

痛みのない日常生活へ戻れるような的確な手術と充実したリハビリテーション治療を行います。人工関節置換術、骨切り術の年間の手術件数は300件を超え、全国でも有数の実績を上げています。

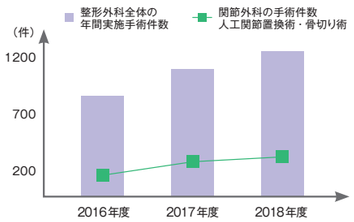
主な疾患

変形性膝関節症、特発性膝骨壊死、半月板損傷、変形性股関節症、寛骨臼形成不全症、特発性大腿骨頭壊死症など

代表的な治療

人工関節全置換術（膝・股関節）、人工膝関節単顆置換術、高位脛骨骨切り術など

整形外科・関節外科の年間手術件数



スポーツ整形外科

子どもから大人まで、スポーツによる外傷（靭帯損傷、骨折など）や障害（慢性的な痛み・動作制限）を低侵襲手術とスポーツリハビリテーションで治療します。早期のスポーツ活動への復帰と再発予防に力を入れています。

主な疾患

膝関節前十字靭帯損傷、半月板損傷、離断性骨軟骨炎（野球肘）
足関節外側靭帯損傷、アキレス腱損傷、疲労骨折など

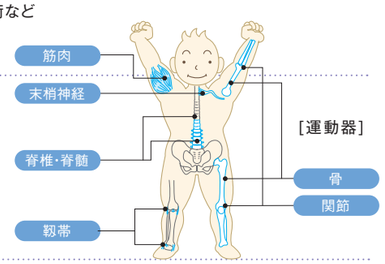
代表的な治療

関節鏡下靭帯再建術、半月板修復術、骨軟骨移植術、靭帯縫合術、観血的骨接合術など

一般整形外科

骨折・外傷などを含め、運動器に対する全般的な整形外科治療を行っています。

運動器：骨、関節、靭帯、筋、脊椎・脊髄、末梢神経など



運動器リハビリテーション診療

手術などでリハビリテーション治療が必要となった場合、質の高い診療を行います。

スポーツリハビリテーション科

アスリート（ウイークエンドからトップアスリートまで）の**スポーツに関連した外傷や疾患**のリハビリテーション治療を経験豊富な理学療法士が専従し専門的に行います。
オリンピック出場選手も含め、30年以上に渡り多数の治療実績があります。

回復期リハビリテーション病棟 B病棟　4F

大学病院などの急性期病院で治療された脳卒中や骨折などの疾患を中心に回復期のリハビリテーション診療を行う目的の病棟です。**リハビリテーション科専門医**のもと、**家庭や社会での活動能力を最大限に回復**できるように集中的なリハビリテーション治療を行います。退院後の生活を想定し、訓練中だけではなく入院生活そのものがリハビリテーション治療となるよう**専門職のチーム力**で診療にあたります。

入院の対象疾患

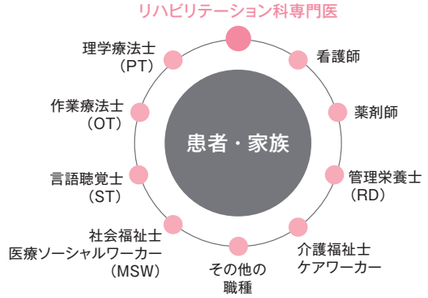
脳卒中（脳梗塞・脳内出血）、頭蓋内損傷、大腿骨骨折、腰椎骨折、骨盤骨折など
発症・手術後1～2か月の方が入院の主な対象となります。

お問い合わせ：地域医療連携係　075(754)7113

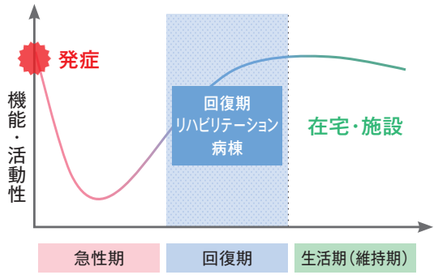
質の高い治療

リハビリテーション科専門医を中心として、各専門職からなるリハビリテーション医療チーム（下図参照）が、適切なプログラムを立案・実施し、質の高い治療を行います。心身の機能回復と日常活動性を向上させ、電気刺激装置・訓練用ロボットなどの最新機器も活用した集中的なリハビリテーション治療を行います。

リハビリテーション医療チーム



回復期の治療イメージ



最新の電気刺激装置による機能回復治療

歩行訓練用ロボットの活用

日常生活に向けた訓練環境を完備

生活期へのスムーズな移行（退院後のフォロー）

退院時訪問指導を行っています。リハビリテーション医療チームの担当者がご自宅に伺い、住宅改修や介護方法のアドバイスを行います。**訪問リハビリテーション（在宅リハビリテーションマネジメント）**によるフォローも行っています。